

市立御前崎総合病院のスタッフを紹介します



# 病院から こんにちは



内科系病棟 **岡村 映子** 主任看護師

## ゆるぎない看護への気持ち

私がこの病院に就職したのは、世の中がバブル絶頂の時でした。当時は、今よりも診療科が多く病院もとても活気付いていたのを覚えています。現在、病院機能は縮小したものの、看護師の患者に対する、ひたむきな看護の思いは昔と少しも変わっていません。

現在私は、内科病棟に勤務しています。患者の入院後から退院に向けての生活を援助し、患者に沿った看護を提供できるよう心掛けています。毎日病棟の看護師全員で、同じベクトルに向かって看護に取り組んでいます。

内科病棟では、退院調整に特に力を入れています。家に帰る場合、患者や介護者が困らないように、さまざまなサービスの提示や相談、分かりやすい指導を目指して関わっています。患者にとって、安全でかつ確実な看護で退院へと導いていきたいと思っています。小さな疑問や悩み、相談などにも随時応じていきたいと考えています。何かありましたら、お気軽に声を掛けてくれれば幸いです。



出身地は？

菊川市

趣味は？

野菜作り

市の印象は？

強風

座右の銘は？

明日は明日の風が吹く

# わたしたちと原子力

## 5号機の評価結果を国が市へ報告

おとし8月の駿河湾の地震以降、運転が止まっている浜岡原発5号機の耐震安全性について12月15日、経済産業省原子力安全・保安院の小林勝耐震安全審査室長が、市議会全員協議会で市と市議会に対して「安全上支障はない」との審議結果を報告しました。

協議会では、中部電力による検証結果の説明に続いて、小林室長がグラフや図形を示しながら「専門家による審議を重ねた結果、重要な施設の機能保持に支障はなく、耐震安全性への影響はない」と結論を説明しました。市議会議員からは

「機能保持に支障はないというが現場で確認したのか」「なぜ審議に1年4カ月もの時間が掛かったのか」などの質問が寄せられました。保安院側は地震観測記



録の分析結果を踏まえて、現場へも足を運び、あらゆる要因を反映させて影響を確認、評価した結果」と答えました。

石原市長は「安全、安心を実感できたが、今後とも市民に分かりやすい説明を国と中部電力へ求めたい」とし、1月15日に新野公民館で地元4市の住民を対象とした市民説明会と浜岡原子力発電所安全等対策協議会（4市対協）を開くこととしています。